

戦争法成立弾劾! 戦争突撃粉碎! 横須賀基地解体!

反帝国際連帯闘争を闘おう!

全国反戦青年委員会・全日本学生自治会総連合（五代委員長）

東京都杉並区下高井戸 1-3 4-9

03-3329-0165/0168 <http://zengakuren.info>

安倍連合政府は9月19日に戦争法を強行成立させ、「集団的自衛権」行使へと踏み込もうとしています。朝鮮・中東一国際反革命戦争の出撃基地として沖縄・辺野古での新基地建設を強行し、米軍・自衛隊の人民虐殺軍隊としての再編・強化と共に横須賀基地や横田基地をはじめ全国の基地が戦争出撃拠点としてさらにうち固められようとしています。労働者人民虐殺のための反革命戦争突撃を許してはなりません。戦争法粉碎の国会前闘争の爆発をひきついで、闘わなければ生きられない全世界労働者人民の実力・武装決起と連帯し、国会前弾圧を粉碎した力で反帝国際連帯闘争を闘おうではありませんか。

◆原子力空母ロナルド・レーガンの母港化を阻止しよう

10月1日、原子力空母ロナルド・レーガンが横須賀基地に配備されました。横須賀を事実上の母港とする原子力空母としては2隻目で、日本に前方展開される空母としては1973年のミッドウェーから数えて5代目です。アジアで緊急事態が発生したさい、横須賀配備の空母は米本土を母港とする空母よりも数週間早く駆けつけられるため、横須賀基地は米軍にとって不可欠の前線基地とされてきました。ロナルド・レーガンの配備と同時に空母を守るイージス艦の配備も増強されます。湾岸戦争、対アフガニスタン戦争、対イラク戦争と労働者人民虐殺の出撃基地とされてきたことを絶対に許すこ

とはできません。

また、これまで横須賀を母港としていたジョージ・ワシントンが11年4月、横須賀寄港前に洋上で、原子炉を緊急停止させた直後に再稼動し、出力を急上昇して臨界にする試験をくり返していたことが航海日誌から明らかになっています。東日本大震災で爆発した福島第1原発の1号機なみの出力があるとみられる原子炉2基を搭載した原子力空母はいつ原子炉爆発が起こってもおかしくないのです。原発再稼動はもとより原子力空母の配備を許すことはできません。

◆国家安全保障会議（NSC）粉碎、防衛装備庁設置を許すな

戦争遂行を決定するのは国家安全保障会議（NSC）です。首相をはじめ4（～5）名の閣僚と、首相が任命した制服組自衛官・外務官僚・警察官僚の集団が全てを決定します。防衛出

動・治安出動についてもNSCが専断します。しかもそれを「秘密保護法」で防衛するということです。まさに、NSCは、「大本営」「戒厳司令部」として活動しようとしています。

10月1日、防衛省の外局として防衛装備庁が発足しました。自衛隊が持つ武器の開発から購入、民間企業による武器輸出の窓口役までを一元的に担うとしています。安倍連合政府は、自衛隊を地球のどこにでも海外派兵できるようにするとともに、武器を「防衛装備」などといひなし他国との共同開発・生産を進め、積極的に

輸出しようとしています。防衛装備庁はその中心となります。また、防衛省は今年から軍事利用を目的にした大学や国の研究機関の研究に研究費を支給するために公募を行い、軍事研究を推進・加速しようとしています。軍産学協同の人民虐殺兵器開発を許してはなりません。

◆朝鮮反革命戦争粉碎、日米帝国主義軍隊解体へ

アメリカ帝国主義・韓国支配階級は、南朝鮮労働者人民の実力決起の鎮圧と北朝鮮スターリン主義政権の軍事的打倒を軸とした朝鮮反革命戦争に突撃しています。そして日帝も、「邦人保護」「米軍防護」「米軍の後方支援」を名目に、朝鮮反革命戦争を遂行しようと躍起になっています。

米韓両軍が朝鮮半島の有事を想定して新たに「作戦計画5015」を作成したことが報道されています。朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)に対し「核・ミサイル発射の兆候があれば30分以内に先制攻撃をおこなう」と恫喝をおこない、より迅速かつ大規模な軍事侵攻を想定したもになっているといわれています。また、米韓両軍は、北朝鮮の体制崩壊を想定した「作戦計画5029」の修正・再編にはいり、「大量破壊兵器

流出阻止」「原発の制御」を理由に「自衛権」を主張し、国連決議などの手続きを経ずに北朝鮮に侵攻し、占領する方針だといわれています。

安倍は「戦後70年談話」にも現れているように、朝鮮人民に対する侵略・植民地支配—強制連行の歴史を居直り、日帝皇軍「慰安婦」を強制された女性たちの糾弾の闘いにまっ向から敵対し居直っています。南朝鮮労働者人民の反日帝・反米帝・朴政権打倒の闘いの圧殺と北朝鮮スターリン主義政権の軍事的打倒をとおして、朝鮮労働者人民に対して新たな隷属化—搾取・収奪を強制しようとしているのです。日朝連帯闘争の前進をかちとり、日帝による侵略・植民地支配に動員され加担したことに対する歴史的階級的自己批判をもって、朝鮮反革命戦争突撃を粉碎しよう。

◆戦争・ファシズム—改憲攻撃への突撃を粉碎しよう

本年4月天皇アキヒトは「慰霊の旅」などとほざきながら海上保安庁の巡視船にみずから乗り込みパラオ—ペリリュー島を蹂躪しました。安倍—支配階級は天皇の元首化、自衛隊の「天皇の軍隊」化をもくろんだ改憲攻撃に—挙に突き進んでいます。アジア—全世界の労働者人民と連帯して改憲攻撃を粉碎し天皇制国家権力を打倒しよう。

沖縄労働者人民の実力闘争と連帯して辺野古新基地建設を阻止しよう。全国の米軍・自衛隊基地を解体しよう。米帝とイスラエル・シオニストによるパレスチナ人民虐殺に対し武装闘争で決起するパレスチナ人民、朴政権打倒にむけ

ゼネストで闘う南朝鮮労働者人民をはじめ全世界の労働者人民と連帯して闘おう。

在特会など右翼ファシストを撃滅しよう。反革命革マル、反革命木元グループをせん滅しよう。

戦争は支配階級—ブルジョアジーが労働者人民を虐殺して資本制生産様式の国家・社会を延命させようとするものです。隊員—兵士は労働者人民に銃口を向けるな、労働者人民を支配・抑圧する権力・資本こそ向けるべき相手だ。すべての自衛隊員は出兵を拒否し、隊内決起—自衛隊解体の闘いにたちあがろう。